



むろふしゅうぞう
室伏友三 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
(副委員長)

公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

■ 姫の沢公園ビクターセンタ
ー改善への取組

9月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



インバウンド誘客と※オーバーツーリズム対策について 観光戦略会議で共有された内容について

【質問】 地域住民やインバウンド客、トレッキング・ハイキング客が使う市道・農道の整備計画について伺う。

【答弁】 これらは地域住民の生活道路であると同時に、近年はトレッキングやハイキングを目的とした観光客の利用も増加しており、重要な観光基盤であるとして認識している。道路整備は損傷状況や安全性、利用頻度などを総合的に勘案し、限られた予算の中で緊急性・重要性を踏まえながら、

優先順位を付けて進めている。

【質問】 本市の基幹産業は観光であるが、観光施策に対する市民満足度は29・8%と低い。それについてどのように考えているか。

【答弁】 「観光繁忙期の駐車場や渋滞対策」が満足度を押し下げる要因となっており、改善につなげる必要があると認識している。

【要望】 市民満足度を上げるため、基幹産業の観光から生みだされる利益の還元先として

市民税減税や狩猟免許の助成金などを考えていただきたい。また※オーバーツーリズムに対しては、人流の拡散ができる観光環境の早急な整備と、海外からのお客様には日本のルールへの厳守を促すサインボードやパンフレットを作成することなどを考えていただきたい。

地域づくりと地域福祉の融合について／ 脱炭素社会実現とごみ処理の広域化について

【質問】 町内世帯数の減少が著しい中、町内会費の収入減も現実的な問題となっている。行政として財源を含めた支援体制について具体的な考えはあるか。

【答弁】 地域集会所設置費等補助金について、補助対象の拡大と補助額算出方法の見直しを進める。

【質問】 ※重層的支援体制整備事業の中の「生活支援体制整備事業」では、日常的な「生活支援」や「介護予防」を地域住民が主体となつて進めていく事を理想としている。地域の力を掘り起こせば地域の困り事を解決する大きな力になると感じるが今後の方策・方向性について考えを伺う。

【答弁】 既存の町内会組織等を主体として事業展開する事は、福祉的観点、まち

づくり、活性化の観点からも相乗して効果を出せることを踏まえ、見直し検討していく。

【質問】 脱炭素社会の実現に向けて、ごみの排出量を30%減らした場合の効果は、また※ミックスペーパーの全市回収を実施した場合のメリットは何か。

【答弁】 約2億1,800万円の経費が減額、二酸化炭素排出量が年1,900トン削減となる。メリットはごみ袋の大きさや出す回数が増え、ごみ袋代の節約等になる。

【要望】 今までの習慣を変える事は大変である。一旦手元が不便になるので丁寧な説明が必要。町内会等とも連携して進めてほしい。



せんみょうじ
泉明寺みずほ 議員

自民党・女性の会
熱海梁山泊

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

■ 観光まちづくり ■ 教育現場
における AI 学習

9月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから

